

NPO 国境地域研究センター企画

サハリン国境紀行 — 北緯50度線へ



日本・サハリン 過去から未来へ  
かつて日本であった樺太の地を専門家と共に訪ねます

295,000 円(予価)

ご希望の場合は、別料金にて、羽田発稚内行航空券、稚内前泊ホテルも承ります。

	日時	時間	都市	プログラム
1	9月10日 (木)	07:30 09:00  15:30 夕方	稚内発  コルサコフ(大泊)着 コルサコフ(大泊)発 ユジノサハリンスク(豊原)着	稚内集合 ハートランドフェリーにてサハリンへ 宗谷海峡で日露の国境超え(「国境通過証明書」が渡されます)  到着後、市内ミニ観光:大泊王子製紙工場跡、旧拓殖銀行跡(外観)を見学 専用バスにて 到着後、ホテルにて夕食【ユジノサハリンスク泊:ホテル サハリンサッポロ】
2	9月11日 (金)	午前  午後  18:00	   ユジノサハリンスク(豊原)発	ホテルにて朝食 ユジノサハリンスク市内視察/旧日本史跡を巡ります: 郷土史博物館(樺太庁博物館/入場)、旧拓殖銀行、軍事裁判所(旧樺太司令官邸)、樺太神社跡、山の空気展望台、日本人墓地(献花) 市内レストランにて昼食 日本センター訪問 専用バスにてポロナイスク(敷香)へ 夕食はお弁当 【ポロナイスク泊:ホテル セーベル】
3	9月12日 (土)	01:00  午前  昼 午後	ポロナイスク(敷香)着  ポロナイスク(敷香)発 スマルヌイフ(気屯) ポページノ(古屯)  ユジノハンダサ(南半田沢)  ユジノハンダサ(南半田沢)発 ポロナイスク(敷香)着	専用バスにてホテルへ  専用バスにて北緯 50 度線旧国境地域へ出発 スマルヌイフ(気屯):日ソ両軍の激しい戦闘の地、郊外にトーチカなど ポページノ(古屯):同上、旧日本軍トーチカ、ソ連軍戦勝記念碑等 スマルヌイフ戦没者慰霊碑にて献花・焼香  南半田沢駅(国境から4キロの所)、北緯 50 度国境石碑等 岡田嘉子が杉本良吉と共に日ソの国境を越えて逃避行したのは1938年(昭和13年)1月3日午後3時半のことでした 昼食:お弁当または市内のレストランにて 専用バスにて 到着後、市内視察/旧日本史跡巡り:旧王子製紙敷香工場跡、旧駅跡他 元横綱大鵬親方の記念碑、ポロナイスク郷土史博物館
		23:33	ポロナイスク(敷香)発	市内レストランにて夕食 夜行寝台列車 604 号にて 【車中泊】
4	9月13日 (日)	06:17  09:00  11:00 昼 午後	ユジノサハリンスク(豊原)着  ユジノサハリンスク(豊原)発  ホルムスク(真岡)着	専用バスにてホテルへ 小休止(朝食、トイレ) 専用バスにて 途中、終戦後も日ソ間で激戦のあった熊笹峠へ。「戦勝記念碑」見学  市内レストランにて昼食 ホルムスク(真岡)市内視察/旧日本史跡巡り:旧王子製紙工場、旧真岡郵便局跡、鎮魂の碑他  市内レストランにて夕食 【ホルムスク泊:ホテル チャイカ】
5	9月14日 (月)	午前  午後	ホルムスク(真岡)発 シネゴルスク(川上)着  シネゴルスク(川上)発 ユジノサハリンスク(豊原)着	ホテルにて朝食 専用バスにて 旧川上炭鉱、博物館見学 昼食:お弁当 専用バスにて ショッピング等 市内レストランにて夕食【ユジノサハリンスク泊:ホテル サハリンサッポロ】
6	9月15日 (火)	午前 10:00 13:00 16:00	  ユジノサハリンスク(豊原)発 東京(成田)着	ホテルにて朝食 フリー 専用バスにて空港へ 空路、オーロラ航空 HZ-9233 便にて帰国の途に

稚内発・札幌着のコースも、別途企画中です

お問合せ先

〒105-6115 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 15 階  
Tel: 03-5733-5595 Fax: 03-3436-2292  
担当: 浜 桜子 e-mail: sakurako.hama@mo-tourist.com

MO. TOURIST CIS RUSSIAN CENTER, INC.  
株式会社 エムオー ツーリスト  
会社 CIS ロシアセンター  
観光庁長官登録旅行業 1855 号